

事業報告書

申請団体名	Silencio Roto 16 Nikkeis実行委員会
事業名	Silencio Roto 16 Nikkeis 上映会 in おきなわ世界塾
対象期間	2021年 9月 13日 ～ 2021年 10月 23日
事業の内容	<p>アルゼンチンの日系社会を知るためのドキュメンタリー映画上映および意見交換会を通じて、アルゼンチンの日系社会や移民した人々の暮らしについてさらに理解を深める。日系人や南米出身者と交流することで、ウチナーネットワークに興味関心を持ち、来年度の世界のウチナーンチュ大会をはじめとする国際交流のリーダーとなる人材育成の機会とする。</p> <p>【プログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープニング 担当：1名 ・概要説明 担当：1名 ・映画上映 ・ゲストトーク 担当：1名、ゲスト1名 ・講師解説/グループワーク 担当：全体進行1名、講師1名、グループ担当5名)
参加者数	19 人
参加者の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・衝撃的な事実と関係者の証言に絶句しました。沖縄とアルゼンチン両方のアイデンティティを持つ人々の苦悩が壮絶すぎてまだ消化できません。もう一度観たいです。(40代女性) ・軍事政権下の中で日系人も少なからず犠牲になっていた事、その時代私はほとんど情報として知らなかった。それより前にゲバラがボリビア山中で捕らえられ処刑された記事は読んでいるのに。日系社会で失踪者を表に出す事を良しとしていなかったこと。それは今に繋がる日本社会の危うさでもあると思った。真実をはっきりさせる動きが今続いている事は希望となります。(70代女性) ・アメリカさんの様々なことばが心に残りました。歴史や背景をしり、自分の意見を持ち、流されずに行動することが大切だと改めて考えさせられました。(30代女性)
具体的な成果・課題	<p>成果</p> <p>映画を通して、沖縄を離れ移民した国で生きるウチナーンチュとその子弟の様子、移民の歴史一部やアルゼンチンで暮らす人々がその社会に向き合って生きたこと、家族の気持ちなど知るきっかけとなった。</p> <p>ゲストの具志堅さんのお話しやグループワーク、講師の上田さんの解説を通して、遠い国の出来事として捉えるのではなく「自分だったらどう考えるか」と自分の意思(考え)をきちんと持つこと、そのために自分事としてとらえることが大切であることを考える機会となった。</p> <p>また、今回初めて講師の方をお呼びすることで、過去から現在まで続いている課題に触れてもらうことができ、過去の出来事で終わらさず、現在に結びつけて考えることができた。</p> <p>課題</p> <p>今回講師の方に、現在まで続いている課題について事例をあげていただき、グループワークを実施した。初めてで面白い試みだったが、事例の内容が難しいとの声があったため、次回からはイメージしやすい内容に改善する必要がある。</p>
将来に向けた展望・課題	<p>展望</p> <p>今後は、アルゼンチンの若者もゲストとしてお呼びすることで、若者視点でのゲストトークやグループワークなどを取り入れていきたい。</p> <p>課題</p> <p>任意団体であり、映画を無料で上映することが条件のため、会場費やゲスト・講師謝金の捻出が課題になる。今回のように助成金等を活用しながら活動を広げていきたい。</p>

写真（補助事業の状況）

